第19号
2016 VOL.3
隔月誌
平成28年5月発行

かなえるレター

かなえるリハビリ訪問看護ステーション



作品名：横浜ランドマークタワーと桜

（担当スタッフより）
集中力を切らさず2カ月ほどで一気にやりきりました。次回作も楽しみです。

（ご利用者コメント）
細かいところが難しかった。他の色と重ならないように工夫した。貼り絵は初めてやったけど楽しかった。

今月の表紙
大阪市西区
小川　将輝さま
作品「貼り絵」

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

ご利用者数　H28/4/25時点
介護保険　926名　その他　7名
医療保険　360名　計　1293名　社員数106名

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

ご利用者数　H28/4/18時点
介護保険　170名　その他　4名
医療保険　19名　計　193名　社員数18名

ご利用者からの投稿募集



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または、訪問スタッフまでお問い合わせ下さい。あなたの投稿をお待ちしております。

かなえるリハビリ
訪問看護ステーション
〒550-0015
大阪市西区南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室

Tel　06-6531-3500
Fax　06-6531-3510

かなえるリハビリ
訪問看護ステーション都
〒604-8371
京都市中京区
御池通神泉苑西入
神泉苑町1-11　コマ・ビル3階
Tel　075-803-0536
Fax　075-803-0537

かなえる　～ご利用者とともに～

今回は当事業所のサービスを利用されている坂下清美さまの紹介です。



音読・復唱に
取り組まれる坂下さま

脳出血の後遺症に伴う失語症のリハビリに携わらせていただいています。「明るく・元気・前向き」の言葉がそのまま当てはまる印象の坂下さま。友人も多く、人と話すのが大好きな方です。

しかし病気の直後は失語症により「言いたい言葉が思い浮かばない」「思い浮かんでも口に出せない」「違う言葉が出てしまう…」など坂下さまにとって大きな苦痛とストレスが溜まっていきました。



写字練習に
取り組まれる坂下さま

訪問リハビリではそんなストレスを少しでも軽減できるよう、50 音表を使用し仮名一文字の音読と写字から行いました。一文字を正確に読み書きすることを目的に、あいうえお順に読む練習とバラバラに読む練習を行いました。それと並行して身の周りにある物品の呼称や単語レベルの音読・復唱を少しずつ行いました。 今では人に物を説明していく課題に取り組むまで回復されています。言えなかった店名「ライフ」が自在に発音できるようになったこともご本人にとって大きな感動でした。それに加えて坂下さまは趣味であるフラワーアレンジメントに積極的に通われたり、運動のためスイミングにも通い始められました。またショッピングにもよく出かけており、店員さんに話が通じない場合はジェスチャーも加えながら「伝える」ことを決して諦めないとのことです。



趣味である
フラワーアレンジ
メントの
作品たち



外に出ることは失語症状をお持ちの方にとってはとても勇気のいる行動だと思います。坂下さまは趣味を大切にしたい気持ちを忘れず、自分から人の輪の中に入ることによってコミュニケーションを楽しもうと努力しておられます。結果として日常生活での努力そのものがリハビリへと繋がっています。

坂下さまの目標は「30 分間、友人とおしゃべりする」ことです。そのために、これからも前向きに挑戦の日々を過ごそうと決意されています。リハビリスタッフとしてこれからも共に頑張っていきたいと思います。

言語聴覚士　中野　伸也



笑顔が素敵な坂下さま
これからも宜しくお願いします！

ご利用者投稿のコーナー



東大阪市
渡邊　チエコさま
作品「マフラー」

（担当スタッフより）
「手が痺れてしまって、何もでけへんわ」とおっしゃりながらも、麻痺のある手で 2 ヶ月超かけてこつこつと指編みマフラーを編まれました。
完成した作品を見て、また何か作ってみようかとおっしゃってくださったのがとても嬉しかったです。

（担当スタッフより）
手先が器用な 6 歳のわかちゃん、訪問の度に新しい作品を見せてもらい、リハビリも頑張ってどんどん元気になって行く姿にこちらが元気をもらいました。
これからも色んな事にチャレンジしてほしいです。

大阪市西区
大西　和花さま
作品「ハッピーセット」



リハビリまめ知識

バランスって？



理学療法士
髙松　龍一



理学療法士
本岡　卓

訪問リハビリを始めてよく問われる質問『バランスってどういう風に練習するの？』『TV で片脚立ちって言っているけど、どれくらいできればいいの？』そんな疑問にお答えします。

◆片脚立ち◆

両手を腰に当てる。上げる足は床から **5 ㎝程度**浮かせる。
目安は

40 歳以上:180 秒
60 歳代前半:70 秒
80 歳代前半:10 秒

＊無理なく始めましょう。また、すぐに掴まれるものがある場所で行いましょう。
＊難しければまずは 5 秒を目指しましょう。



◆つなわたり風歩行(タンデム歩行)◆

体を支える面積を狭くすることで、バランス訓練になります。**踏み出した足のつま先と踏み出す足の踵を繋げて歩きます。**難易度は高く、出来る人は自信を持ってください。





かなえる
TOPIC

４月に開設！「かなえる広場　さくら」

この度平成 28 年４月１日より当社に新しい事業所が増えました。大阪市西区靭本町に開設した「こどもげんきけいかく　かなえる広場さくら」です。

この施設は、児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問・障がい児相談支援といったお子さまの発達を支援するサービスを提供します。特に、0 歳～小学校低学年までのお子さまを対象として、障がいのあるお子さまが地域でその子らしくすくすくと成長し暮らし続けられるよう、お手伝いができればと思い開設しました。



具体的には主に障がいのあるお子さまが通われて、日常生活での困りごとや学校生活でもっと出来たらと思うことに専門職（作業療法士、保育士、看護師）と共に向き合って解決していきます。また、保育園や幼稚園・小学校へ専門職がお伺いして園・学校生活を円滑に送れるよう、色々なサービスを用いてケアプランを立てることを行っていきます。

去る３月 25 日（金）～27 日（日）の３日間、内覧会を開催いたしました。天気予報では雨が心配されましたが、３日間天候にも恵まれ、お子さまとそのご家族、関連機関の他職種、近隣の地域の方、社員やその家族、総勢 90 名近くの方々にお越しいただけました。また、近隣で就労支援に力を注いでいる Café「CHASHITSU」様にもご協力いただき、café タイムをはさみながらの内覧会で、皆さん楽しくたくさんお話してくださり、笑顔で「また来ます」と言ってくださいました。

お子さま達の遊ぶ姿や、お母さま方の井戸端会議をする姿、他の事業所の相談員の方が来てくださって相談会が始まる姿、などなど…開設前にもかかわらず多くの方が集ってくださった「広場」に、近隣の方も看板を見て立ち寄ってくださいました。かなえる広場さくらが目指す「地域に開かれたさくら」「地域へのバリアフリーのスペース」の第一歩を踏み出せたかと思います。

これからも様々なことを考え、実行していきますので、今後とも「こどもげんきけいかく　かなえる広場さくら」をどうぞ末永くよろしくお願いいたします。

かなえる広場さくら　スタッフ一同







春の日差しが暖かく、非常に過ごしやすい気候になり、訪問の移動も心地良い季節となりました。４月より新たに「かなえる広場さくら」が仲間に加わり、スタッフも新たに 14 名が加わりました。新年度もよりパワーアップして、地域に根差した事業所になり、みなさまに笑顔を届けられるよう、がんばっていきますので、よろしくお願いします！

編集者　下川　貴大